



女性初の段取り調整担当者として、複雑なフォーミングマシンを扱うようになったのは、上司からの「やってみない?」という一言がきっかけだった。2009年（平成21年）の新卒入社以来、3人の子育てと仕事を両立しながら、どのように立ちはだかる壁を乗り越えてきたのか。その向上心の源泉と、未来への思いを紐解いていく。

新たなステージへの第一歩を踏み出す

転機が訪れたのは、今から約2年前。それまで10年以上にわたり、製品の検査や手直しといった後工程を担当してきたが、上司から「やってみない?」と新たな役割を打診されたのだ。それは、フォーミングマシンの段取り調整という業務だった。前任者が

辞めたタイミングでの突然の申し出に、最初は心が揺らいだ。

「難しい仕事だと聞いていたので、『自分にできるのか』という不安がありました。ただ、もともとお願いされたら『やってみようかな』と思う性格なので、あまり深く考え込まずに挑戦してみようと決めました」。

難易度の高い機械と向き合い続けた1年間

しかし、いざ飛び込んでみると、その業務は想像を遥かに超えるほど複雑だった。担当するのは、同じ製品を製造する9台のフォーミングマシン。製品の品質を保つために、悪くなりそうな箇所を画像で確認してから、直すための数値を機械に入力し、「歪

Company interview

み」を手で修正していく。特に、この歪み調整の難しさには大いに悩まされた。調整箇所は約30か所にも及び、数値を入力してもその通りにならなかったり、突然、製品の形が変わってしまったりと、試行錯誤の日々が続いた。

どこをどう直せばいいのかわからなくても、修正箇所を探りながら作業を進めていくしかなかった。1人で満足のいく調整ができるようになるまで、約1年はかかったという。

「いつかはできる」と思わせてくれた

温かい言葉

先の見えない不安の中で、心を支えてくれたのは周りの仲間たちの存在だ。特に、当時の上司だった係長のサポートは大きかった。わからないことは、どれほど些細な内容でも、聞かたびに丁寧に教えてくれた。

そして何より、悩んでいる自分にかけてくれた「最初の1～2年は、皆悩むものだから」という言葉が、気持ちを軽くしてくれたのだ。自分より年下の社員たちも乗り越えてきた道だから、いつかは自分もできるようになるはず。そう信じて、ひたむきに機械と向き合い続けた。

何事も「なるようにしかならない」

「私は、昔からあまり深く考えないタイプです。嫌な出来事があっても寝たら忘れるので、マイナスな気持ちは引きずりません」。

その考え方は、3人の子育てと仕事の両立においても発揮されている。小学校から中学校まで、育ち盛りの子どもたちの毎日は慌ただしい。それでも「なるようにしかならない」と、日々のルーティンを大切にしながら、皆で楽しく過ごしている。

また、子どもたちが自然と家事を手伝ってくれる

ことや、急な休みにも対応してくれる職場の理解もありがたい。だからこそ、さらに頑張ろうという気持ちになれるのだ。

スキルアップと子どもたちの

未来のために

段取り調整という大きな壁を乗り越えた経験は、自分をさらに成長させてくれたと感じている。

「何でも実際にやらなければ、わからないことばかりです。それなら、やらないよりはやった方がいいですよ。それに、挑戦することは自分のためになりますから」。

その言葉通り、最近では会社の勤めでフォークリフトの免許を取得。今では、自ら材料運搬を行い、着実に業務の幅を広げている。

そして今、上司からの勤めがきっかけで、「金属ばね製造技能士2級」の資格取得という新たな目標を見据えている。自らを突き動かす原動力は、知見を広げてレベルアップしたいという向上心と、「子どもたちに、やりたいことをやらせてあげたい」という親心。愛する家族の笑顔のために、挑戦の日々は続いていく。

未知の分野へひたむきに挑むその姿勢は、私たちに一歩を踏み出すことの大切さを教えてくれる。この挑戦によって培われた貴重な経験が、名実併存に新たな風を吹き込んでくれるに違いない。



さんってどんな人?

大きな声の挨拶と笑顔で、そこにいるだけで周りをパッと明るくする太陽のような存在。仕事には真面目でユーモアも忘れない素顔を、15年来の友人である社員から紹介します。

Q1. さんとの関係性

恩人であり、大切な友人

15年前、同じ部署で働く同僚として出会いました。まだ日本語があまり得意ではなかった私を、最初にご飯に誘ってくれた人です。月に3回ほど一緒に中華料理を食べに行くうちに、私の日本語も少しずつ上達していききました。会社に早く馴染めるよう気遣ってくれた、恩人のような存在です。

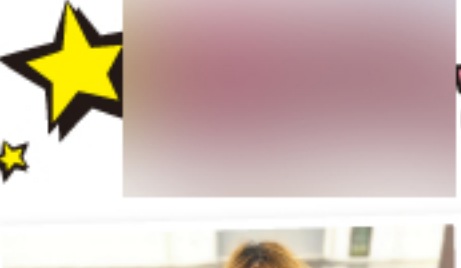
Q2. 一言で表すと

「いつも元気で、仕事に真面目な明るい人」

3人の子育てをしながら、いつもニコニコと大きな声で挨拶をしていて、職場にただで周りが明るくなる存在です。とても面白い一面もあり、また、私の拙い言葉でも意図を汲み取って会話を広げてくれるため、話していると自然と笑顔になります。

Q3. 思い出エピソード

一番思い出に残っているのは、一緒に激辛ラーメンを食べに行ったことです。私は「日本の辛さなら大丈夫だろう」と、100倍の辛さを注文しました。もちろんものすごく辛く、必死で完食しましたが、その後10分くらい胃が痛くて動けず、みんなに大笑いされました。



さん

製造G
仕上げ・アッシー班

Q4. メッセージ

いつも周りを大切にしてくれる、太陽のような人。これからずっと幸せでいてほしいと心から願っています。そして、次は一緒にバーベキューをしましょう!

社内ジム活用ガイド

「仕事終わりに疲れた体で、わざわざ運動なんて……」と悩んでいる方いませんか? 実はその疲れ、たった30分のトレーニングで解消できるかもしれません。今回は、社内にあるトレーニングジムの活用事例をご紹介します!

品質保証グループ 課長 さん

トレーニングジムってどんなところ?

ランニングマシンやエアロバイクはもちろん、サンドバッグや懸垂マシンまで、さまざまな器具が揃っています。10人程が十分に使える広さがあり、**利用が多いのは定時後の17～19時頃**。昼休みに短時間だけ利用する方もいます。

利用して感じた魅力

仕事帰りにすぐ寄ることができるため、**続けやすいのがメリット**。疲れているときこそ、ストレッチや軽い有酸素運動で血行が良くなり、かえって体が楽になります。また、その日の体調に合わせて無理なくメニューを調整できるのも、社内ジムならではの魅力です。



皆さんへメッセージ

わずか30分でも十分効果はあります。有酸素運動は20分以上で脂肪燃焼が始まるため、少しの時間でも続ければ、必ず体が変わっていくことでしょう。**現在会社では、健康宣言を行い「健康経営優良法人」の認定所得に向けて取り組んでいます。健康診断の結果が気になる方は、ジムを活用してその結果を改善することもおすすめです。**ぜひ一度、気軽に利用してみてください!

THE ROOTS of MEIKO

～今に繋がる出会い～

Vol. 2

当社の知られざるルーツを探る企画の第2弾。今回は1950年代後半から1960年代にかけて、現在も当社にとってかけがえのない、心強いパートナーである主要取引先各社との出会いを振り返ります。

ナビゲーター

代表取締役社長 **槽谷 信嘉さん**

専務取締役 **槽谷 豪宏さん**

取引先各社との関係性

1957年の津田工業株式会社様を皮切りに取引先が増加。新川工業株式会社様（現株式会社アイシン様）と取引が始まった当時は、社員がバイクに荷物を載せて、舗装されていない道を毎日往復していたそうです。また、自動車業界の成長とともに、株式会社アイシン様も当社も成長できたという時代背景があり、生産量の増加に合わせて工場を徐々に増設するに至りました。スズキ株式会社様との取引は、**ばねだけでなくワッシャーも手がけるようになるきっかけ**になりました。

プレス工場増設の背景

スズキ株式会社様とはワッシャーから取引が始まりました。ワッシャーはプレスだけでなく、熱処理や研磨といった後工程があります。当時一般的だったのが、プレスだけを行ない、熱処理は別の会社依頼するという流れ。これはロスの発生がデメリットでした。それに対し、**当社は一貫して自社で対応できるのが強み**。その優位性をより高めるべく工場を増設しました。

各社から信用・信頼を得られた背景

創業者からは、納期と品質を守るという点で他社と比べて優位性があり、信頼を得ていたと聞いています。具体的には「**受注した製品を決められた納期に、図面通りに納める**」という基本を徹底し、お客様からの信用と信頼を得てきました。社員一人ひとりが責任をもって、協力しながら仕事に取り組んだ結果と言えます。

創業当時を振り返り思うこと

創業者の人物、そして時代背景もあり、当時は結束力の高い組織だったと感じます。一方、現代は人と人の関係が希薄で、自ずと結束力が弱まりがち。今一度初心に帰り、**一丸団結して企業としてのレベルアップを図りたい**と思います。また、**創業当初からの「まずは自分でやってみる」という精神を大切に**して、足りない部分を改善していきたいと考えています。

> 次回
>> 時代は1970年代以降の当社に迫ります。



▲刈谷工場増設写真

【1950年代後半～1960年代】

- 1957年 津田工業株式会社様 取引開始
- 1964年 新川工業株式会社様
- 1967年（現 株式会社アイシン様）
- 1969年 取引開始/刈谷工場を新設
スズキ株式会社様 取引開始
プレス工場増設